



## セットアップ Web UI の概要

Cisco Prime Network Registrar のローカルクラスタ web UI は、基本ユーザーモードでセットアップ環境を提供します。セットアップはウィザードによく似た一連のインタビューページの形式で、ユーザーの選択にのみ基づきます。

ライセンス管理は、Cisco Prime Network Registrar がインストールされるときに、リージョンクラスタから実行されます。まず、リージョンサーバをインストールしてから、リージョンサーバにすべてのライセンスをロードする必要があります。ローカルクラスタをインストールすると、リージョンを登録してライセンスを取得します。詳細については、「*Cisco Prime Network Registrar 11.1 インストールガイド*」を参照してください。

この章は、次の項で構成されています。

- [セットアップ機能 \(1 ページ\)](#)
- [セットアップ機能とナビゲーション \(2 ページ\)](#)

## セットアップ機能

セットアップ ページには次の機能が用意されています。

- ユーザー パスワードの変更
- ダイナミック ホスト コンフィギュレーション：
  - ダイナミック ホスト コンフィギュレーション (DHCP) サービスのイネーブル化
  - 2つのサーバー間における DHCP フェールオーバーの設定
  - サービス クラスの設定
  - サーバー ロギング モードの選択
  - DHCP トラップの設定
- キャッシング DNS 設定：
  - キャッシング ドメイン ネーム システム (CDNS) サービスのイネーブル化
  - サーバー ロギング モードの選択
  - CDNS トラップの設定
- 権威 DNS 設定：

- 権威 DNS サービスのイネーブル化
- DNS サーバーの役割の選択
- 高可用性 (HA) DNS サーバーの設定
- サーバー ロギング モードの選択
- DNS トラップの設定
- ダイナミック ホストの DNS 更新
- 簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) トラップの受信側
- トリビアル ファイル転送プロトコル (TFTP) サーバー

## セットアップ機能とナビゲーション

セットアップ ページ:

- 基本および拡張ユーザー モードから特別なセットアップ モードに移動します。基本および拡張ユーザー モードは、セットアップ インタビューを使用して環境を設定したあとで特別な設定を行うためのモードです。これらのモード (およびサーバー概念) の詳細については、『Cisco プライムネットワーク レジストラー 11.1 管理ガイド』を参照してください。
- 機能をイネーブルにしたりディセーブルにしたりできる [このサーバーを設定 (Setup this Server) ] ページが含まれ、このページがイネーブルになっているすべての機能のページの出発点となります。
- ページには、順に実行できるように [戻る (Back) ]、[次へ (Next) ]、および [終了 (Finish) ] ボタンがあります。ただし、[このサーバーを設定 (Set up this Server) ] ページには [戻る (Back) ] ボタンはありません。また、[セットアップインタビュー タスク (Setup Interview Tasks) ] ページには [戻る (Back) ] ボタンと [次へ (Next) ] ボタンはありません。[終了 (Finish) ] ボタンを使用すると、[セットアップインタビュー タスク (Setup Interview Tasks) ] ページに直接移動できます。



**注意** ブラウザの [戻る (Back) ] ボタンと [進む (Forward) ] ボタンを使用してセットアップ プロセスをナビゲートしないでください。ブラウザの [戻る (Back) ] ボタンと [進む (Forward) ] ボタンを使用すると、エラーが発生する可能性があります。

- 設定した基準に従って次のページを開く [次へ (Next) ] ボタンが含まれます。たとえば、DNS サーバーがイネーブルであるが、プライマリとして指定されていない場合、[高可用性 (HA) DNS サーバー (High-Availability (HA) DNS server) ]、[ゾーン分散 (zone distribution) ]、および [正引きゾーンと逆引きゾーンの設定 (forward and backward zone configuration) ] ページは省略されます。
- ローカルのセットアップインタビューには [サービス (Services) ]、[DHCP]、[CDNS]、[DNS]、[DNS 更新 (DNS Update) ]、[トラップ (Traps) ]、および [終了 (Finish) ] タブがあるため、[このサーバーを設定 (Set up this Server) ] ページでイネーブルステータスで

あるかディセーブルステータスであるかにかかわらずこれらの機能にアクセスできます。ただし、[このサーバーを設定 (Set up this Server)] ページで機能がディセーブルになっている場合、その機能はセットアップページでディセーブルと表示されます。特定のセットアップ ページでステータスを変更できます。変更すると、[このサーバーを設定 (Set up this Server)] ページのステータスがリセットされます。

- トランザクションの場合とそうでない場合があります。クラスタやキーを作成する場合は、値を入力するとすぐにデータベースへの書き込みが行われます。データベースへの書き込みが [次へ (Next)] または [終了 (Finish)] をクリックしたときにのみ行われる場合もあります。
- [終了 (Finish)] をクリックすると、データベースの書き込みを追跡し、レポート ページでそれらを要約します。
- 最初の選択デフォルト値を提供し、変更を次回のセットアップまで保持します (次回以降のセットアップでは、前に設定された値が新しいデフォルト値になります)。



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。